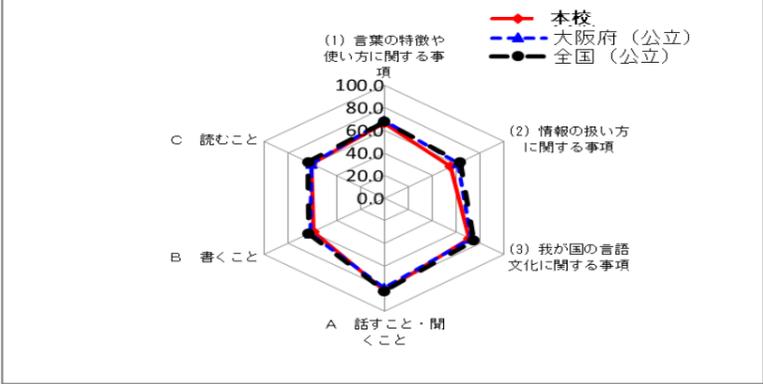
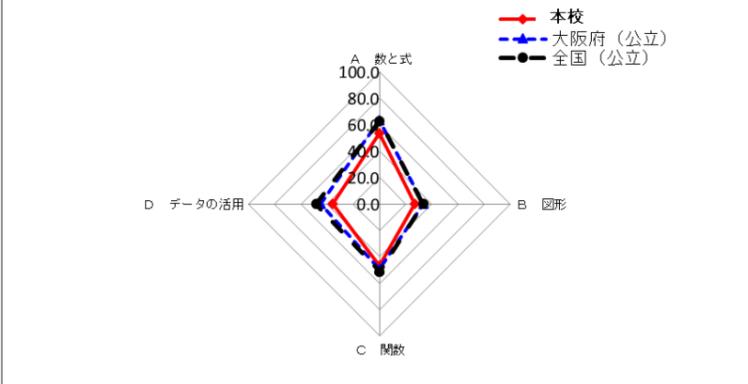
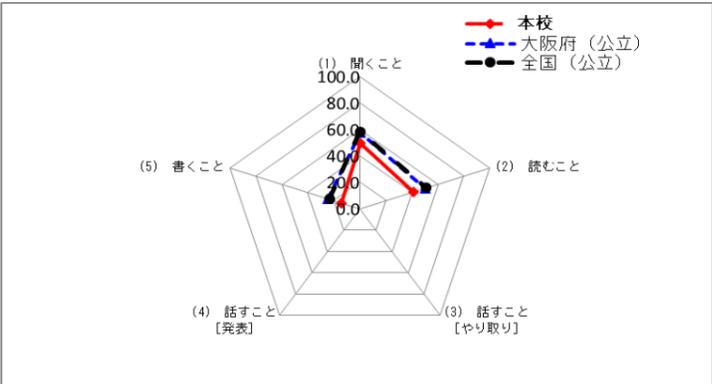


令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

富田林市立第二中学校

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【国語】	【数学】	【英語】
 <p>全体的な状況 府平均に近い結果であった。思考判断表現の「話すこと・聞くこと」に関する問題の正答率が81.7%で、府の平均を2.2%上回っている。知識技能の「情報の扱い方に関する事項」に関する問題の正答率が府の平均よりも-6.1%で、特に差がある。</p> <p>成果 思考判断表現の「話すこと・聞くこと」に関する問題が、「インタビュー」を題材としたものであった。その問題に関する正答率が高く、全国平均を2.6%超えているものもある。2年生時のインターン学習において、街頭インタビューに向けて準備し実施した経験がいかされたと考えられる。</p> <p>課題 知識技能の「情報の扱い方に関する事項」に課題がある。情報を読み取り、そこから自分の考えを明確に表す力が弱い。</p> <p>課題解決に向けた取り組み ・グラフなどで表された集計結果等、情報を読み取る機会を増やし思考法を捉えさせる。・情報処理としてICT機器の活用を続けていく。・根拠を明確にして書くことを繰り返し、一部でも考えが表現できるよう記述問題への苦手意識や負担感を減らす。</p>	 <p>全体的な状況 正答数が1～6問に偏りが見られ、中央値も6.0問だった。知識・技能の「関数」に関する問題の正答率は府の平均と比べて+5.3%上回っていたが、知識・技能の「数と式」「データの活用」では府の平均と比べた際に正答率がそれぞれ-8%、-13.3%と差が見られた。</p> <p>成果 文章を読み取り、問題場面における考察の対象を答える問題では府の平均や全国平均と比べても正答率が+1%上回っている。思考・表現・判断については、図形やグラフを読み取る問題は府の平均と比べても無回答率が低く、記述式の問題に対しても意欲がうかがえる。</p> <p>課題 上記の知識・技能の「数と式」「データの活用」に関する分野、思考・判断・表現の「数と式」に関する問題で、「目的に応じて式を変形する」「文字式の意味を読み取り、事柄が成り立つ理由を説明する」分野に課題が見られる。</p> <p>課題解決に向けた取り組み 授業のはじめに取り組みダッシュを使って、知識・技能の「数と式」「データの活用」を中心とした復習に取り組む。また、「数と式」の説明の分野については3年生の範囲で類似問題が出題されるため、その際に1・2年生の復習に取り組む。</p>	 <p>全体的な状況 全体的に府・全国平均を下回った。その中で「思考・判断・表現」に関する問題の正答率は府・全国平均に近い。一方で、「知識・技能」に関する問題の正答率が低く、基本的な語彙力、文法力が不足していると思われる。一方で無解答率が低く、表現しようという高い意欲がみられる。</p> <p>成果 日常的な話題について、目的に応じた英語を聞き、必要な情報を読み取ることや、短い文章の要点をとらえることについての評価は高い。授業で短い英文の読み取りを継続していることも関係していると思われる。</p> <p>課題 図表やグラフの内容を示した長文の読み取りが苦手な生徒が多い。また基本的な語彙力、文法力に課題がみられる。既習事項を用いて、自己表現につなげる過程の練習量を増やす必要がある。</p> <p>課題解決に向けた取り組み 実際に自分で、表現したいことを英文にして、読んだり、書いたりする時間を多くとる。その力を土台として、話す活動にもつなげていく。</p>

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国	課題を残した主な項目	本校	府	全国
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	79	59	64	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	50	51	55
あなたの学級は、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	89	72	78	読書は好きですか	62	61	66
日本や居住地域のことを、外国の人にもっと知ってもらいたいですか	73	60	63				

全体的な状況
・ほとんどの項目において、府や全国平均を上回る結果がでております。
・上記のほかにも「学校に行くのは楽しいと思いますか」や「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目でも全国平均+10ポイント上回っています。

成果
・1年生の頃より集団作りに力を入れ、自治力を高める取り組みを積み重ねてきたことが成果として表れている。行事や各種取り組みにおいて、リーダーを中心とした話し合いをもとに進めてきたので、学級の中で安心して意見が言える雰囲気確立している。地域や社会に対する積極性の高さは、修学旅行や校外学習の取り組み等、社会とのかかわりの中で養われたものだと考えられ、保護者の皆様のご協力も大きい。これらの成果を存分に生かし、全員の進路獲得にむけて今後も努力していきたい。

課題
・家ででの自主的で有意義な時間の使い方が定着していないこと。

課題解決に向けた取り組み
・「カテガクノート(家庭学習ノート)」の継続に、より力をいれていく。
・朝読書を奨励し、粘り強く読書の習慣をつけていく。
・ご家庭での改善と実行をお願いし、学校では学活道徳等様々な時間を使って、スマホ等の使用の見直しや有意義な時間の使い方を発信し続けていく。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

・早寝早起き朝ごはんの項目も全国平均を上回っています。家庭での生活リズムの安定が伺われ、心身が健康になり、学校での活動にも前向きに取り組むことができているのだと推察されます。また、「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」の項目も10%以上高く、本校としても本当にうれしい結果となりました。日々の学年づくりの成果がでていいるのではと感じております。一方、学力面では、全国平均を上回る項目もある反面、基礎基本の確実な定着に課題がみられる部分もあり、今後の授業改善に生かしてまいります。
・保護者の皆様の多大な協力のもと、今回のよい結果につながっております。今後もよりよい結果となるようご支援のほどよろしくお願いいたします。